

てんかん・痙攣

痙攣(けいれん)convulsionとは、筋肉が急激に不随意(自分の意志とは関係なく)に収縮する発作のことをいい、全身または一部の筋肉に起こります。

てんかん epileptic とは、脳が一時的に過剰に興奮することで、意識消失やけいれんなどの“てんかん発作”を繰り返し引き起こす病気のことです。

GENERALITIES; CONVULSIONS; epileptic p1822

私たちの脳は数百億もの神経細胞によって成り立っており、神経細胞が電氣的な興奮を引き起こすことでさまざまな情報が伝達されていきます。てんかんは、神経細胞の電氣的な興奮が過剰に発生する部位が生じ、脳のはたらきに異常が引き起こされることによって発症します。

てんかんには症状の現れ方や原因によってさまざまなタイプがあり、乳幼児から高齢者まで全ての年代で発症する可能性があります。タイプは、画像検査などではっきり原因が分からないタイプと画像上で異常を示すタイプに大別されます。後者は外傷による脳へのダメージ、脳卒中、脳腫瘍、アルツハイマー病など脳の病気によって引き起こされます。乳幼児や小児は原因が分からないタイプが多く、高齢者は病気や外傷によるタイプが多いことが特徴です。

痙攣には、手足を強直させる強直性痙攣。Tonic convulsion

ガタガタと手足の屈伸を繰り返すように動かす間代性痙攣 Clonic convulsion があります。



強直性痙攣



間代性痙攣

©KOMPAS1821

GENERALITIES; CONVULSIONS; tonic p1827

GENERALITIES; CONVULSIONS; clonic p1821